

平成二十九年一月投句

【十日恵比寿神社】

スカイプで時空を解きて御慶かな

福笹のはためく風を担ぎゆく

鞆に薬付けくれ叱りつつ

勝利

贈られし石を親しく紅梅に

真理子

柄先まで青き柄杓や初手水

スケートの靴滑らかに踏み替へし

タクシーは名護屋城址へ雪しまく

恵比須社の鯛の口より初手水

お隣りは沖繩流の注連飾

節子

手から手に鶯を替へつつ願ひつつ

由紀子

ドアホーン大寒に立つ人の声

鬼やらふ大松明の揃ひ立つ

県庁のロビー行き交ふ戎笹

友の声聞こゑたやうや梅ふふむ

光子

寂しさは後につのりて寒の梅